

## 安全データシート

## 4,6-ジニトロ-o-クレゾールナトリウム

改訂日: 2024-01-29 版番号: 1

## 1. 化学品及び会社情報

## 製品識別子

製品名	: 4,6-ジニトロ-o-クレゾールナトリウム
CB番号	: CB9100330
CAS	: 2312-76-7
同義語	: 4,6-ジニトロ-o-クレゾールナトリウム

## 物質または混合物の関連する特定された用途、および推奨されない用途

関連する特定用途	: 農薬 (NITE-CHRIPより引用)
推奨されない用途	: なし

## 会社ID

会社名	: Chemicalbook
住所	: 北京市海淀区上地十街匯煌国際1号棟
電話	: 400-158-6606

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

## 分類実施日

## (物化危険性及び健康有害性)

R3.3.12、政府向けGHS分類ガイダンス (令和元年度改訂版 (ver2.0)) を使用

JIS Z7252:2019準拠 (GHS改訂6版を使用)

## 物理化学的危険性

爆発物 等級1.3

## 健康に対する有害性

急性毒性 (経口) 区分2

急性毒性 (経皮) 区分2

生殖毒性 区分2

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) 区分1 (中枢神経系、心血管系)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) 区分1 (中枢神経系、眼、心血管系、血液系、肝臓、腎臓、皮膚)

## 分類実施日

## (環境有害性)

平成18年度、GHS分類マニュアル(H18.2.10版)

## 環境に対する有害性

## GHSラベル要素

### 絵表示

### 注意喚起語

危険

### 危険有害性情報

爆発物:火災、爆風又は飛散危険性 飲み込むと生命に危険 皮膚に接触すると生命に危険 生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い 中枢神経系、心血管系の障害 長期にわたる、又は反復ばく露による中枢神経系、眼、心血管系、血液系、肝臓、腎臓、皮膚の障害

### 注意書き

### 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。乾燥が危険有害性を増加させる場合は、適切な物質で湿らせて保管すること。他の容器に移し替えないこと。容器を接地しアースをとること。粉碎/衝撃/摩擦のような乱暴な取扱いをしないこと。粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。眼、皮膚、衣類につけないこと。取扱後はよく手を洗うこと。この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

### 応急措置

火災の場合:爆発する危険性あり。区域から退避させること。炎が爆発物に届いたら消火活動をしないこと。ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師に連絡すること。汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。特別な処置が必要である(このラベルの・・・を見よ)。注) "... "は、ラベルに解毒剤等中毒時の情報提供を受けるための連絡先などが記載されている場合のものです。ラベル作成時には、"... "を適切に置き換えてください。皮膚に付着した場合:多量の水/石けん(鹼)で洗うこと。直ちに医師に連絡すること。飲み込んだ場合:直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。

### 保管

国又は都道府県の規則に従って保管すること。施錠して保管すること。

### 廃棄

内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に依頼して廃棄すること。

### 他の危険有害性

情報なし

---

## 3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	: 単一製品
化学名又は一般名	: 4,6-ジニトロ-o-クレゾールナトリウム
別名	: 4,6-ジニトロオルトクレゾールナトリウム
濃度又は濃度範囲	: 情報なし
分子式(分子量)	: C7H5N2NaO5 (220.11)
CAS番号	: 2312-76-7
官報公示整理番号	: 3-822
国報公示整理番号	: 情報なし
国報公示整理番号	: 情報なし
国報公示整理番号	: 情報なし

---

## 4. 応急措置

## 吸入した場合

空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

人工呼吸が必要なことがある。

医師の診断/手当を受ける。

## 皮膚に付着した場合

多量の水/石けん(鹼)で洗うこと。

直ちに医師に連絡すること。

## 眼に入った場合

瞼を大きく開き、流水で10分間洗い流す。

医師の診断/手当を受ける。

## 飲み込んだ場合

直ちに医師に連絡すること。

口をすすぐこと。

コップ1杯の水を飲ませる。

嘔吐した場合は、患者の頭を胃の高さに保ち誤嚥を防ぐ。

## 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

情報なし

## 応急措置をする者の保護

情報なし

## 医師に対する特別な注意事項

皮膚および粘膜の黄色の変色は、局所的または全身的な原因である可能性がある。

---

## 5. 火災時の措置

### 適切な消火剤

水噴霧、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素

### 使ってはならない消火剤

棒状注水

### 特有の危険有害性

火災時に亜酸化窒素ガス(一酸化窒素)が発生する可能性がある。

### 特有の消火方法

水を噴霧して容器類を冷却する。

### 消火を行う者の保護

自給式呼吸器を着用する。

---

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。

状況に応じた適切な呼吸用保護具を使用すること。

### 環境に対する注意事項

周辺環境に影響がある可能性があるため、製品の環境中への流出を避ける。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

水で湿らせ、粉じんが発生しないようにして回収する。

その後、エリアを換気し、漏洩場所を洗浄する。

水、排水、下水道、または地面への侵入を防ぐ。

---

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

#### 技術的対策

「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の措置を行い、必要に応じて保護具を着用する。

#### 安全取扱い注意事項

使用前に取扱説明書を入手すること。

全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。

熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。

他の容器に移し替えないこと。

粉碎/衝撃/摩擦のような乱暴な取扱いをしないこと。

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。

眼、皮膚、衣類につけないこと。

汚染された衣類を直ちに全て脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

#### 接触回避

「10. 安全性及び反応性」を参照。

#### 衛生対策

この製品を使用する時に、飲食又は喫煙しないこと。

取扱い後はよく手を洗うこと。

### 保管

#### 安全な保管条件

国又は都道府県の規則に従って保管すること。

施錠して保管すること。

乾燥が危険有害性を増加させる場合は、適切な物質で湿らせて保管すること。

容器を密封し、換気のよい涼しい場所に保管する。

熱から保護する。

#### 安全な容器包装材料

国連危険物輸送勧告で規定された容器を使用する。

---

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理濃度

未設定

### 許容濃度

日本産衛学会 (2020年度版)

未設定

### 許容濃度

ACGIH (2020年版)

未設定

### 設備対策

容器を接地しアースをとること。換気設備を設ける。床排水口があってはならない。洗浄設備を設け、大量に取り扱う場合は緊急用シャワーを設置する。

### 保護具

#### 呼吸用保護具

状況に応じた適切な呼吸用保護具を使用すること。

#### 手の保護具

不浸透性の保護手袋を着用する。

#### 眼の保護具

側面保護付きの保護眼鏡を着用する。

#### 皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

---

## 9. 物理的及び化学的性質

### Information on basic physicochemical properties

物理状態 固体 (20℃、1気圧) (GHS判定)

色 黄色

臭い データなし

データなし

データなし

可燃性 (爆発性) (GESTIS (Access on April 2020))

該当しない

該当しない

該当しない

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

データなし

該当しない

データなし

## 融点/凝固点

データなし

## 沸点、初留点及び沸騰範囲

データなし

## 可燃性

可燃性 (爆発性) (GESTIS (Access on April 2020))

## 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界

該当しない

## 引火点

該当しない

## 自然発火点

該当しない

## 分解温度

データなし

## pH

データなし

## 動粘性率

データなし

## 溶解度

データなし

## n-オクタノール/水分配係数

データなし

## 蒸気圧

データなし

## 密度及び/又は相対密度

データなし

## 相対ガス密度

該当しない

## 粒子特性

データなし

---

## 10. 安定性及び反応性

### 反応性

「危険有害反応可能性」を参照。

### 化学的安定性

情報なし

### 危険有害反応可能性

乾燥すると爆発性を示す。

### 避けるべき条件

乾燥、混触危険物質との接触

### 混触危険物質

強酸化剤

### 危険有害な分解生成物

火災時に亜酸化窒素ガス (一酸化窒素) が発生する可能性がある。

---

## 11. 有害性情報

### 急性毒性

経口

#### 【分類根拠】

(1) より、区分2とした。

#### 【根拠データ】

(1) ラットのLD50: 26 mg/kg (GESTIS (Access on April 2020))

経皮

#### 【分類根拠】

(1) より、区分2とした。

#### 【根拠データ】

(1) ラットのLD50: 200 mg/kg (GESTIS (Access on April 2020))

吸入:ガス

【分類根拠】

GHSの定義における固体であり、区分に該当しない。

吸入:蒸気

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

吸入:粉じん及びミスト

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

皮膚腐食性及び皮膚刺激性

【分類根拠】

データ不足のため、分類できない。

【参考データ等】

(1) 本物質の1.8%液を2人のボランティアに30日間適用した試験で皮膚反応は生じず、職業的に本物質を取り扱う場合にも皮膚の変化は報告されていない (GESTIS (Access on April 2020))。

眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性

【分類根拠】

データ不足のため、分類できない。

【参考データ等】

(1) 本物質の0.9%液 5滴をウサギの眼に投与した試験で24時間後まで刺激性反応はみられていない (GESTIS (Access on April 2020))。

呼吸器感作性

【分類根拠】

データ不足のため、分類できない。

皮膚感作性

【分類根拠】

データ不足のため、分類できない。

【参考データ等】

(1) 本物質の遊離酸である4,6-ジニトロ-o-クレゾール (CAS番号 534-52-1) は動物において皮膚感作性を示すため、皮膚感作性を考慮する必要がある。

生殖細胞変異原性

【分類根拠】

データ不足のため分類できない。

発がん性

【分類根拠】

データがなく分類できない。



【参考データ等】

(1) 雌雄のラットに本物質の遊離酸である4,6-ジニトロ-*o*-クレゾール (CAS番号 534-52-1) を104週間混餌投与 (0.00025、0.0015、0.01%) した試験で、腫瘍の発生率に増加はなかった (MOE初期評価第10巻 (2012))。

生殖毒性

【分類根拠】

本物質についてのデータはない。(1) より、生殖毒性についても同様に遊離酸である4,6-ジニトロ-*o*-クレゾールによる影響を反映するものと考えられ、(2) の遊離酸である4,6-ジニトロ-*o*-クレゾール (CAS番号 534-52-1) の分類結果から区分2とした。なお、4,6-ジニトロ-*o*-クレゾールの情報を基に検討を行った結果、旧分類から分類結果を変更した。

【根拠データ】

(1) 本物質の全身影響 (systemic effects) は本物質の遊離酸である4,6-ジニトロ-*o*-クレゾールによる全身影響によるものである (GESTIS (Access on April 2020))。

(2) 4,6-ジニトロ-*o*-クレゾールは、ラットの2世代生殖毒性試験の結果に基づき区分2に分類されている (2020年度GHS分類結果)。

【参考データ等】

本物質の遊離酸である4,6-ジニトロ-*o*-クレゾール (CAS番号 534-52-1) の情報:

(3) ラットを用いた混餌投与による二世帯生殖毒性試験において、生殖パラメータに影響はみられていないが、母動物に体重増加抑制がみられる用量で授乳期同腹児数の減少がみられている (EHC 220 (2000))。

---

## 12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 (急性)

データ不足のため分類できない。

水生環境有害性 (長期間)

データ不足のため分類できない。

オゾン層への有害性

-

---

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。

汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

## 14. 輸送上の注意

### 国際規制

#### 国連番号

0234

#### 国連品名

SODIUM DINITRO-o-CRESOLATE, dry or wetted with less than 15% water, by mass†

#### 国連危険有害性クラス

1.3

#### 副次危険

-

#### 容器等級

-

#### 海洋汚染物質

-

**MARPOL73/78**附属書II及び**IBC**コードによるばら積み輸送される液体物質

-

### 国内規制

#### 海上規制情報

船舶安全法の規定に従う。

#### 航空規制情報

航空法の規定に従う。

#### 陸上規制情報

毒物及び劇物取締法、道路法の規定に従う。

#### 特別な安全上の対策

毒物及び劇物取締法、道路法の規定によるイエローカード携行の対象物

#### その他(一般的)注意

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。重量物を上積みしない。

#### 緊急時応急措置指針番号\*

-

---

## 15. 適用法令

### 労働安全衛生法

-

### 化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)

-

### 毒物及び劇物取締法

毒物(指定令第1条)【12 ジニトロクレゾール塩類及びこれを含有する製剤】

## 道路法

車両の通行の制限(施行令第19条の13、(独)日本高速道路保有・債務返済機構公示第12号・別表第2)【1 ジニトロクレゾール塩類】

## 航空法

輸送禁止(施行規則第194条)【【国連番号】0234 ジニトロオルトクレゾールナトリウム塩】

## 船舶安全法

火薬類(危規則第3条危険物告示別表第1)【【国連番号】0234 ジニトロオルトクレゾールナトリウム塩】

## 港則法

爆発物・火薬類(法第21条第2項、規則第12条、危険物の種類を定める告示別表)【1イ ジニトロオルトクレゾールナトリウム塩】

## 海洋汚染防止法

個品運送P(施行規則第30条の2の3、国土交通省告示)【【国連番号】0234 ジニトロオルトクレゾールナトリウム塩】

## 下水道法

水質基準物質(法第12条の2第2項、施行令第9条の4)【28 フェノール類】

## 水質汚濁防止法

指定物質(法第2条第4項、施行令第3条の3)【55 フェノール類及びその塩類】

---

## 16. その他の情報

### 略語と頭字語

ADR: 道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定

CAS: ケミカルアブストラクトサービス

EC50: 有効濃度 50%

IATA: 国際航空運送協会

IMDG: 国際海上危険物

LC50: 致死濃度 50%

LD50: 致死量 50%

RID: 鉄道による危険物の国際輸送に関する規則

STEL: 短期暴露限度

TWA: 時間加重平均

### 参考文献

【1】労働安全衛生法 ウェブサイト <https://www.mhlw.go.jp>

【2】化学物質審査規制法(化審法)<https://www.env.go.jp>

【3】化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) <https://www.chemicoco.env.go.jp>

【4】NITE化学物質総合情報提供システム (NITE-CHRIP)<https://www.nite.go.jp/>

【5】カメオケミカルズ公式サイト <http://cameochemicals.noaa.gov/search/simple>

【6】ChemIDplus、ウェブサイト <http://chem.sis.nlm.nih.gov/chemidplus/chemidlite.jsp>

【7】 ECHA - 欧州化学物質庁、ウェブサイト <https://echa.europa.eu/>

【8】 eChemPortal - OECD 化学物質情報グローバルポータル、ウェブサイト [http://www.chemportal.org/chemportal/index?pageID=0&request\\_locale=en](http://www.chemportal.org/chemportal/index?pageID=0&request_locale=en)

【9】 ERG - 米国運輸省による緊急対応ガイドブック、ウェブサイト <http://www.phmsa.dot.gov/hazmat/library/erg>

【10】 有害物質に関するドイツ GESTIS データベース、ウェブサイト <http://www.dguv.de/ifa/gestis/gestis-stoffdatenbank/index-2.jsp>

【11】 HSDB - 有害物質データバンク、ウェブサイト <https://toxnet.nlm.nih.gov/newtoxnet/hsdb.htm>

【12】 IARC - 国際がん研究機関、ウェブサイト <http://www.iarc.fr/>

【13】 IPCS - The International Chemical Safety Cards (ICSC)、ウェブサイト <http://www.ilo.org/dyn/icsc/showcard.home>

【14】 Sigma-Aldrich、ウェブサイト <https://www.sigmaaldrich.com/>

**免責事項:**

本MSDS中の情報は指定された製品にのみ適用され、特に規定がない限り、本製品とその他の物質の混合物には適用されません。本MSDSは、製品使用者の適切な専門的なトレーニングを受けた者にのみ製品安全情報を提供します。本MSDSの使用者は、本MSDSの適用性について独自に判断しなければならない。本MSDSの著者は、本MSDSの使用によるいかなる傷害にも責任を負わない。